

Title	大学のグローバル化における図書館の役割-留学生サービスから考える-<平成25年度 京都大学図書館機構講演会>(スライド: 東北大における留学生協働による学習支援/ユ・キョンラン)
Author(s)	森, 真理子; 河上, 志貴子; 横山, 美佳; ユ, キョンラン
Citation	(2013)
Issue Date	2013-12-11
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/180546">http://hdl.handle.net/2433/180546</a>
Right	
Type	Presentation
Textversion	author

# 留学生コンシェルジュ

---

— 東北大学の取り組み —

ユ・キョンラン

# 同年度生まれの方々

箕輪はるか

<http://image.space.rakuten.co.jp/lg01/74/0001212774/59/img38946fb1zikczj.jpeg>

大島美幸

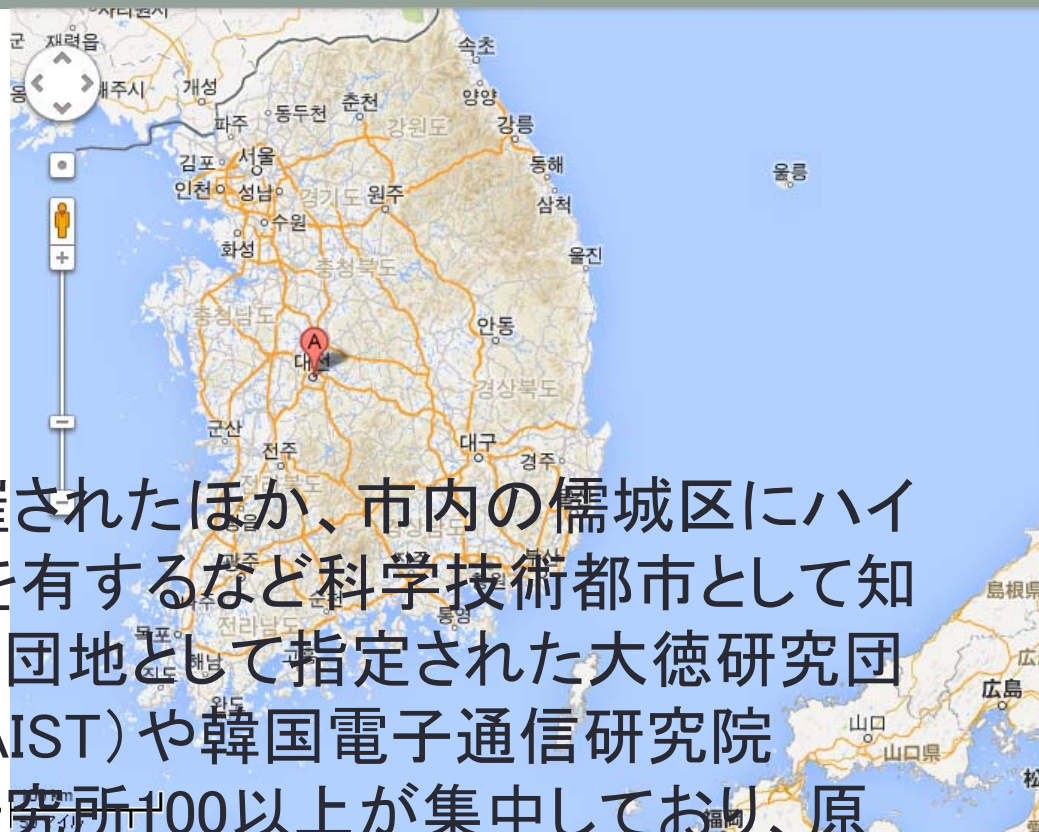
<http://1topi.jp/curator/monet33/1308/08/283777>

チェ・ホンマン

<http://japanese.joins.com/photo/771/1/89771.html?servcode=200&sectcode=200&clock=jplarticlepicture>

# 地元話

- 出身: 韓国大田市
- 「科学の都市」
- 科学EXPOが1993年に開催されたほか、市内の儒城区にハイテク団地「大徳研究団地」を有するなど科学技術都市として知られる。1973年に研究学園団地として指定された大徳研究団地は、韓国科学技術院(KAIST)や韓国電子通信研究院(ETRI)など政府・民間の研究所100以上が集中しており、原子力や宇宙開発、生命工学などの研究を行っている。また特許庁や統計庁など首都機能の一部が大田に分散されており、韓国鉄道公社の本社も置かれている。

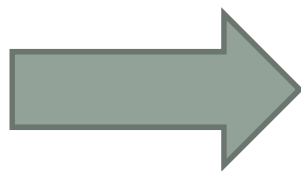


# 渡日と留学のきっかけ

- 渡日：日本語の教師になりたいと思い、師範大学・日本語教育専攻課程を卒業した。生きている日本語を教えるためには、日本で生々しい日本社会を経験しなければならないと思った。宮城学院女子大学での留学を経て、その延長線で航空会社にも就いた。
- 東北大学入学：社会人としてキャリアを積みながら、本当にやりたいのは先生ではなく、外国人向けのカウンセラーであることに気づき、最初から勉強を始めることにした。今は在日外国人と在日外国人留学生のメンタルヘルスについて研究している。

# 入学から始まった不安

- 研究計画書：研究生として学籍をもらい、研究室の生活を始めたが、最初先生に言われた指示に大変困った。その指示は、「やりたいことを書いてきてください」。当時、心理学に門外漢だった私は、情報の探し方や研究計画書の書き方は経験外のことであった。知り合いや友達に聞きながら、少しずつ分かるようになった。
- お金：会社で働きながらある程度貯金はしたものの、どれぐらい生活費・光熱費がかかり、どれぐらいバイトをすれば、バランス良く支出・収入の計画を立てて、目標の長期留学ができるか、分からなかった。「他の留学生は皆どう生活しているのだろう」と、まわりに聞いた。



留学生は皆どうしているのだろう。  
気になる！聞きたい！

# 留学生の増加

1983年:「21世紀への留学生政策に関する提言」(中曽根内閣)

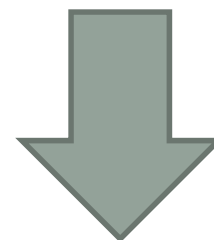
1984年6月:「21世紀への留学生政策の展開について」で「留学生10万人計画」が発表(文部科学省)

1990年代後半:一時停滞

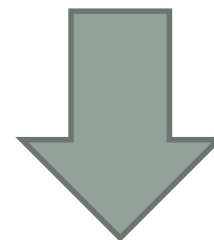
現在:主にアジア諸国から日本への留学生が急増し続けている(2006年の数値を国籍別にみると、中国が74,292人(63.0%)、韓国が15,974人(13.5%)であり、以上の2か国で全体の80%近くを占める)。

2006年の外国人留学生の総数は117,927名で、日本政府から奨学金が支給されているのは、約10%の9,869名である。したがって、ほとんどが私費留学生である。

1983年: 1万名



1990年代後半: 5万名



2005年: 120,000名

留学生の増加一文部科学省統計

# 留学生の増加

## 「留学生30万人計画」:

先進諸外国の外国人留学生数を見てみると、アメリカ合衆国が約56万人(2005年)、英国が約36万人(2005年)、ドイツが約25万人(2005年)、フランスが約27万人(2006年)と、日本を大幅に上回っていることから、文部科学省などは、留学生数のさらなる拡大と支援のために「留学生30万人計画」を打ち出し、2008年7月にその骨子を策定した。

同骨子によれば、「**日本留学への関心を呼び起こす動機づけや情報提供から、入試・入学・入国の入り口の改善、大学等の教育機関や社会における受入れ体制の整備、卒業・修了後の就職支援等に至る幅広い施策**」を行なうことで、2020年までに留学生受け入れ数を**30万人**にまで増やすことを目標としている。



# 東北大学の留学生

年度	私費留学生	国費留学生	総計
平成19	832	347	1,179
平成20	877	341	1,218
平成21	1,006	340	1,346
平成22	1,165	346	1,511
平成23	1,166	332	1,498
平成24	1,129	303	1,432
平成25	1,137	299	1,436

東北大統計

震災によって少し減少したが、大体増加の傾向

# 京都大のグローバル化

京大、英語での授業3割に 20年までに、留学生も倍増

【浅倉拓也】京大は、学部や大学院での英語による講義を、現在の5%から2020年までに全体の30%に増やす目標を掲げた。世界トップレベルの大学としての地位確立をめざす「国際戦略」の一環で、留学生の派遣・受け入れや、外国人教員の数も倍増させる計画だ。

京大は今年度、学部の教養教育科目を担う「国際高等教育院」を設置した。ここで外国人教員を来年度から5年間、毎年20人ずつ採用する計画だ。また、**全学で20年までに、留学生の受け入れは現在の約2千人から4300人に、外国人教員は240人から500人に、外国人研究者は2950人から6千人に、それぞれ倍増させる方針だ。**

京大の国際担当の三嶋理晃(みちあき)理事は「かなり高い目標だが、大学院ではすでに英語による授業は充実しており、今後は学部の教養教育科目も英語化を推進して達成したい」という。

一方、東京大は10年に、英語による授業を3倍以上に増やす計画を発表。学部はすでに目標を達成したが、それでも全科目の約3%、大学院は約2倍に増えて約8%だという。

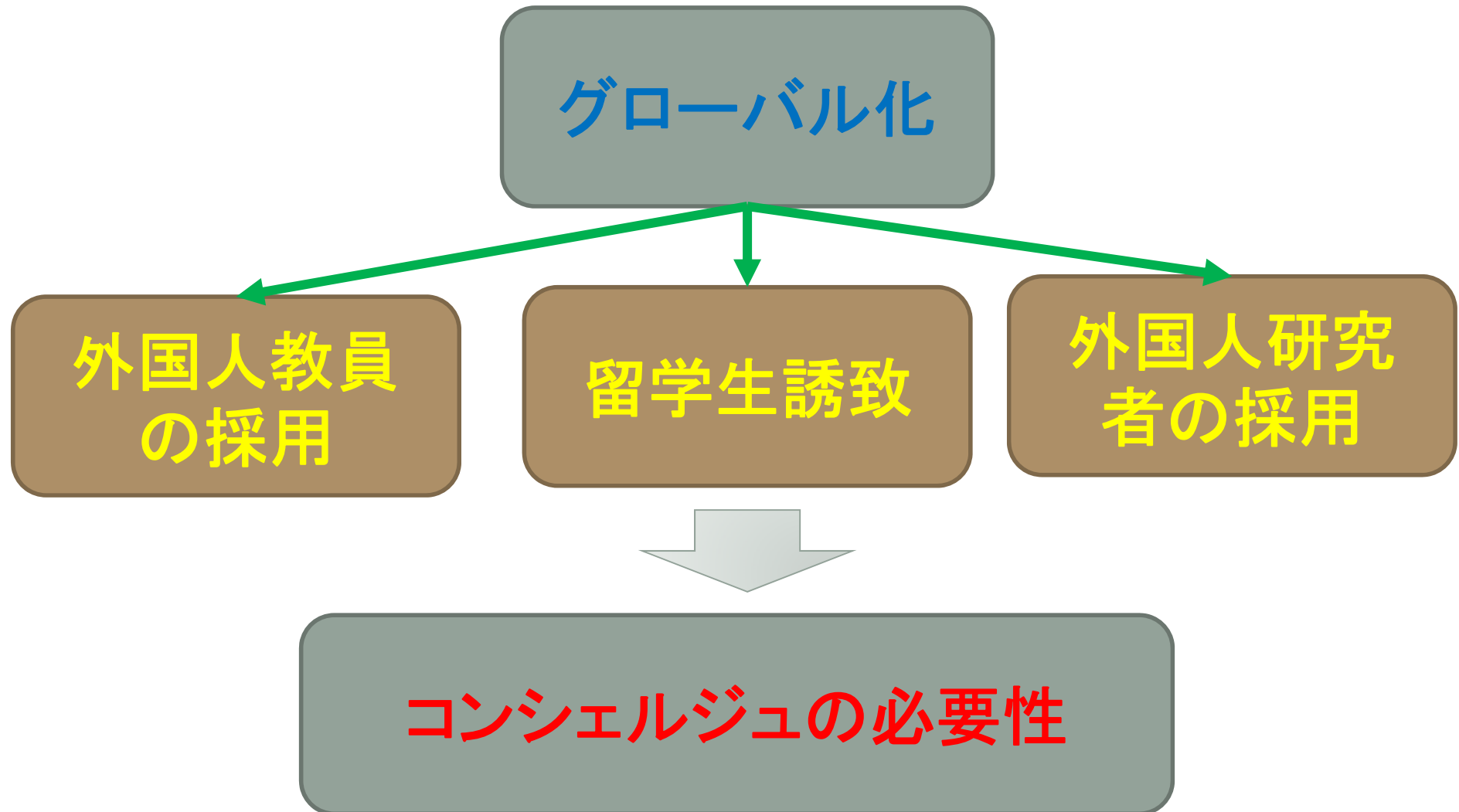
# 東京大の留学生

## 外国人留学生数の推移



全体的に漸増傾向にあるが、特に大学院において増加傾向にある。

# 大学のグローバル化とコンシェルジュ



# コンシェルジュの仕事 – CiNiiの利用



1. 学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報が検索可能
2. 全国の大学図書館等が所蔵する本(図書・雑誌)の情報が検索可能



留学生に日本文献の調べ方を説明する。

# コンシェルジュの仕事 – OPACの利用

The screenshot shows the OPAC (Online Public Access Catalog) interface for Tohoku University. At the top, there is a navigation bar with links for '東北大学HP', '図書館HP', '入力補助', 'ヘルプ', 'English', 'MyLibrary', and '購読新聞リスト'. Below this, the main content area is divided into several sections:

- 図書館サービス** (Library Services): Includes 'レファレンスサービス (調査・質問受付)', '横断検索', '図書新着案内', and 'AV資料案内'.
- 利用者サービス** (User Services): Includes '貸出・予約状況照会', '文献複写・借用申込', '文献複写・借用申込状況照会', '図書購入申込(教員専用)', '図書購入申込状況照会(教員専用)', '学生図書リクエスト', '学生図書リクエスト状況照会', and 'メールアドレス管理'.
- 学内/学外** (On/Off Campus): A toggle switch for user location.
- 簡易検索へ** (Simple Search): A search input field with a magnifying glass icon.
- 資料区分** (Material Classification): A list of checkboxes for '図書', '和図書', '洋図書', '雑誌', '和雑誌', '洋雑誌', '特集記事', and '電子ブック'.
- 検索条件** (Search Conditions): Fields for search criteria, including '全ての項目から', '著者名に左の語を含む', and '出版社・出版者'. It also includes 'AND' dropdowns and '並び順' (Sort Order) options: '書名', '昇順', and '降順'. A '一覧表示件数' (Number of items per page) dropdown is set to 20.
- 検索** (Search) and **クリア** (Clear) buttons.
- キャンパス** (Campus): A dropdown menu with options: '(全学)', '川内地区', '-本館', '-文学部', and '-教育学部'.
- 検索オプション** (Search Options): Fields for '出版年', '出版国', '言語', '分野', and '媒体種別', each with a dropdown menu.



留学生に図書の探し方を説明する。

# コンシェルジュの仕事 – 相談

- たまには、留学生活の悩みについて相談をしたいという留学生もいる。
- 相談内容
  - 日本語の覚え方ー主に、日本に来たばかりの留学生
  - 日本人との接し方ー仲間との関係、指導教員との関係
  - 経済的な悩みーどんなバイトが良いか、どんなバイトが悪いか
  - ストレスー留学生活のなかで感じるストレス
- コンシェルジュを「留学の先輩」と思い、相談のつもりでアプローチをかけてくれる留学生の数が徐々に増えつつある。

# 【参考】留学生のストレスとは



あまりにも克服できない問題にぶつかったときの「mental disease」である (Malzberg & Lee, 1956; Murphy, 1965; WHO, 1991)。これは、文化的衝突や変化の大きさ、速度、重大さなどが個人の対処限界を超えたときのことである。また、これにはメンタルヘルスに大きな悪影響を及ぼす恐れがある (Berry & Kim, 1988; Jayasuriyam, Sang, & Fielding, 1992)。

個人の民族文化が現地文化に適していないと認識すること。

Berry(1980)の「行動シフト(behavioral shifts)」。類似した概念としてBrislinら(1983)の「文化学習(culture learning)」、FurnhamとBochner(1986)の「社会技術習得(social skills acquisition)」が挙げられる。

文化変容のプロセスの中にある個人が文化的価値観、言語障壁、差別(Gil, Vega, & Dimas, 1994)を経験するときのストレス。

「カルチャー・ショック(culture shock)」(Oberg, 1960)、または「文化変容ストレス(acculturative stress)」(Berry, 1970; Berry, Kim, Minde, & Mok, 1987; Mena, Padilla, & Maldonado, 1987)。



# コンシェルジュの仕事 – 母国紹介

- オープンキャンパスの際、訪問した高校生に韓国の文化と高校生の受験生活について紹介した。
- 韓国文化の特徴: ダイナミック(過ぎる)。
- 韓国高校生の受験生活: 部活ができないほど、ほとんどの時間、勉強している(1日中18時間程度)。「受験地獄」そのものである。
- その他: 韓国の政治家、芸術家などを紹介。

# コンシェルジュの役割とは

## 留学生

- 国際交流の窓口: 母国を日本人に紹介し、日本を留学生に紹介する。
- 学問的役割: 情報収集の手伝い。メイン図書館にすることで、自分の所属を関係なくアクセスしやすい。

(留学生支援課などもあるが、場所が把握しづらいという声もある。東北大学で最も身近に覚えられる場所はメイン図書館である。)

- 生活の相談: 日本適応を手伝う



新種のソーシャル・サポート

# ソーシャル・サポート

「ソーシャルサポート」とは「他者が危機に直面しと人の①心理的資源の動員を助けることで、個人の感情的な負担を抑制する、②課題を共有する、③危機に対処するための物質的・手段的資源および認知的指針を提供する、という3つの主要な機能を果たすことによって個人の心身の健康状態を促進すること」 Caplan(1974)

「ソーシャルサポート」とは「愛情、肯定、援助という三つの要素を少なくとも1つ以上含む個人間の相互交渉」 Khan&Antonucci(1980)

在日中国系留学生の適応の基盤は来日後3～9ヶ月の時期に形成され、その段階で、留学生が多くソーシャルサポートを受け取れば、彼らの適応は改良されるが、この時期にソーシャルサポートが得られなければ、後でソーシャルサポートが得られても適応の促進に直接役立たない。周(1995)

日本にきてすぐにコンシェルジュと  
出会った方がいいかも知れない。

# 留学生の悩み

- 研究
  - 研究計画書の書き方、先行研究の検索
- 人間関係
  - 指導教員、研究室の仲間
- 生活の面
  - 経済的な問題
  - 生活の全般的なこと(例えば、ゴミ捨て)。

# 留学生の声

## ー コンシェルジュにあって悩みの解決になったか

### • 研究

- 書籍や電子ジャーナルの検索がうまくできなくて、研究をどう進めばいいか戸惑ったが、コンシェルジュの手伝いで方向性が見えてきた。

### • 人間関係

- 仲間や指導教員とは違って、コンシェルジュには親しみがある。
- 自分の国からの東北大留学生は数少なくて孤独だが、国籍が異なるものの、コンシェルジュと話し合うと安心できる。

### • 生活の面

- 普通暮らしの面での疑問や悩みはくだらないものばかりであり、聞く自体が不便である。しかし、コンシェルジュには気軽に何でも相談できる。

### • その他

- 不安な気持ちを伝えるだけで、心が楽になる。
- OPACを多言語インターフェースにするなど、少しだけ気をつけてもらうだけで、留学生はありがたくなるが、そういった気づきがないような気がする。

## 感想

- 自分が大学に戻ったときの悩みと同じ悩みを抱えている留学生が結構いる。(文献の探し方に戸惑うなど)
- 支援を受けるだけの立場ではなく、自分の日本での生活と経験を生かし、人に役に立つことができる。やりがいを感じる。
- コンシェルジュ同士の情報交換があって、暮らしに役立つと考えられる。

# 評価

項目	評価
集中度	○
親切度	△
出席率	○
非遅刻率	△

反省をふまえ：遅刻をしない。親切に対応する。

# 今後の希望

- コンシェルジュが単に辞書通りの「管理人」ではなく、留学生が留学生をサポートするという、新概念のソーシャル・サポートになってほしい。
- コンシェルジュの人数を増やすよりも、コンシェルジュの国籍の数を増やしてほしい。
- OPACホームページの多国語化（全部はできないが、頻繁に使われるメニューのタイトルや検索項目などでも様々な言語に訳すことはできるのではないか）